

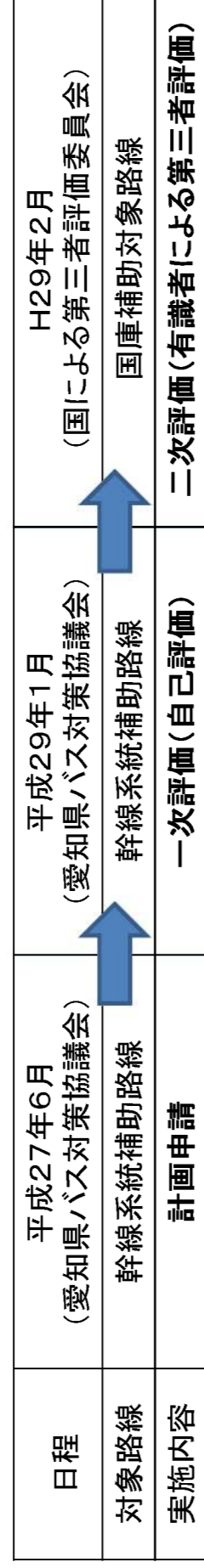
1 補助対象路線と補助金額(平成27年10月～平成28年9月)

対象路線	平成28年度(千円)	対象路線	平成28年度(千円)
旭・豊田線	20,325.5	さなげ・足助線	19,746.5
小原・豊田線	19,719.5	下山・豊田線	9,495.5
藤岡・豊田線(西中山経由)	8,034	藤岡・豊田線(加納経由)	6,838.5
高岡ふれあいバス(路線②)	7,666.5	計	91,826

2 評価目的

- ・「事業の実施状況の確認」、「目標達成状況」等の評価を行うことによって、より効果的、効率的に運行されることを目的とする。

3 評価の流れ



- ※・地域バス補助路線については、第2回豊田市公共交通会議にて評価を実施済
- ・豊田市内を走る、名鉄バス(株)自主路線についても愛知県バス対策協議会にて評価を実施済

4 第2回愛知県バス対策協議会(平成29年1月17日)における一次評価

●目標・効果達成状況及び今後の改善点

- ・7路線中4路線において、利用者数が前年度より増加しており、生活交通の確保の観点からも地域住民の移動手段として着実に定着している。今後は少子高齢化に伴って、利用者が減っていく可能性があるため、効率的な利用促進に努めていく。
- ・平成28年度から交通系共通ICカード導入により、ODデータ取得による利用実態の把握を行い、それを活用したネットワーク機能分析を検討していく。
- ・厳しい財政状況の中で、バス路線の質の向上による、持続可能な公共交通ネットワークの構築を図っていく。

※豊田市では、基幹バス、地域バス全路線の評価を独自で実施し、改善に繋げています。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

【平成28年度分】

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統)

提出者:愛知県バス対策協議会

補助対象事業者等		事業概要		前回の事業評価結果の反映状況	事業実施の適切性	目標・効果達成状況	複数市町村を跨ぐ系統としての役割	幹線系統としての役割	事業の今後の改善点(特記事項を含む)
運営主体	運行事業者	系統名	運行区間						
豊田市	名鉄バス(株)	とよたおいでんバス(旭・豊田線)	小渡～豊田市	ICカードのODデータ取得による利用実態の把握を行った。また、データを活用したネットワーク機能分析について検討を行った。	A	補助対象期間における利用者数は82,452人であり、目標利用者数85,842人に比べ96%と目標を達成できなかった。前年度比は101.9%で増加している。	豊田市と旧旭町を跨ぐ利用者は、19% 1,440人/月であるが、市郊外から市中心部への通勤・通学の手段となっており広域的な路線として役割を果たしていると考えられる。	<広域的・幹線的系統> 名古屋鉄道 三河線、豊田線 とよたおいでんバス 稲武・足助線、旭・足助線、さなげ・足助線、藤岡・豊田線(加納経由)、保見・豊田線、小原・豊田線、藤岡・豊田線(西中山経由)、豊田・渋谷線、下山・豊田線、中心市街地玄関口バス、土橋・豊田東環状線 名鉄バス 矢立線、東山住宅線、豊田東市内線(古瀬間経由)、豊田市内線、星ヶ丘・豊田線、九久平線、豊田西市内線 <地域的・フィーダー的系統> 旭地域バス、小原地域バス、石野地域バス、藤岡地域バス	利用が大きく落ち込む広瀬～小渡間の利用者増に努める必要がある。市独自の路線評価基準とも照らし合わせ、地域とともに利用促進に努めていく。利用者の減少区域内の「やな」等の観光施設や旭地域のしだれ桃と連携した利用促進策に取り組んでいく。
		とよたおいでんバス(小原・豊田線)	上仁木～豊田市	ICカードのODデータ取得による利用実態の把握を行った。また、データを活用したネットワーク機能分析について検討を行った。	A	補助対象期間の利用者は194,071人であり、目標の186,832人に対して104%となり目標が達成することができた。飯野～四郷・梅坪駅間の利用が多く、小原地域・藤岡地域から鉄道駅へのアクセスに利用されていると考えられる。	豊田市と旧旭町を跨ぐ利用者は、18% 3,480人/月であるが、市郊外から市中心部への通勤・通学の手段となっており広域的な路線として役割を果たしていると考えられる。	<広域的・幹線的系統> 名古屋鉄道 三河線、豊田線 とよたおいでんバス 稲武・足助線、旭・豊田線、さなげ・足助線、藤岡・豊田線(加納経由)、保見・豊田線、小原・豊田線、藤岡・豊田線(西中山経由)、豊田・渋谷線、中心市街地玄関口バス、土橋・豊田東環状線 名鉄バス 矢立線、東山住宅線、豊田東市内線(古瀬間経由)、豊田市内線、星ヶ丘・豊田線、九久平線、豊田西市内線 <地域的・フィーダー的系統> 小原地域バス、藤岡地域バス	特に上仁木～加茂丘高校間の利用促進に努め、今後も利用者の増加傾向が続くよう努める必要がある。鉄道駅への接続も含めて経路の検討を行っていく。小原四季桜まつりに対応した期間限定のダイヤの実施や路線の延伸化を検討する。
		とよたおいでんバス(藤岡豊田線(西中山経由))	藤岡中学校～西中山～豊田市	ICカードのODデータ取得による利用実態の把握を行った。また、データを活用したネットワーク機能分析について検討を行った。	A	補助対象期間の利用者は116,090人であり、目標の115,553人に対して100.5%となり目標が達成することができた。利用者は運行開始以来増加傾向が続いている。	旧豊田市と旧藤岡町との相互間の利用者は、79% 10,500人/月であり、広域的な利用がされている路線である。市郊外から市中心部への通勤・通学の手段として利用されていると考えられる。	<広域的・幹線的系統> 名古屋鉄道 三河線、豊田線 とよたおいでんバス 稲武・足助線、旭・豊田線、さなげ・足助線、藤岡・豊田線(加納経由)、保見・豊田線、小原・豊田線、豊田・渋谷線、下山・豊田線、中心市街地玄関口バス、土橋・豊田東環状線 名鉄バス 矢立線、東山住宅線、豊田東市内線(古瀬間経由)、豊田市内線、星ヶ丘・豊田線、九久平線、豊田西市内線 <地域的・フィーダー的系統> 藤岡地域バス	鉄道への接続路線として利用されていると伺えるため乗り継ぎ利便性の向上策の検討を行う。小原四季桜まつりに対応した期間限定のダイヤを実施する。
	とよたおいでんバス(さなげ・足助線)	豊田厚生病院～百年草【車両減価償却費等 国庫補助金の交付対象】	ICカードのODデータ取得による利用実態の把握を行った。また、データを活用したネットワーク機能分析について検討を行った。	A	補助対象期間における利用者数は193,047人であり、目標利用者数200,393人に比べ96%と目標を達成できなかった。前年度比も97.8%で減少している。2つの総合病院、3つの高校を沿線にもつ路線であるが、平成27年度より利用者数が減少傾向にあり、今後も少子化に伴って利用者が減る可能性がある。	旧豊田市と旧足助町との相互間の利用者は、41% 8,820人/月であり、広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。足助病院から猿投駅間の利用が多く他路線に乗り継いでの利用が多い。中山間地域から市中心部への通勤、通学手段として利用されていると考えられる。	<広域的・幹線的系統> 名古屋鉄道 三河線、豊田線 愛知環状鉄道 とよたおいでんバス 保見・豊田線、藤岡・豊田線(加納経由)、小原・豊田線、藤岡・豊田線(西中山経由)、旭・豊田線、旭・足助線、稲武・足助線 名鉄バス 矢立線、岡崎・足助線 <地域的・フィーダー的系統> 保見地域バス、石野地域バス、足助地域バス、みよしさんさんバス	小型車両を使用しているが、朝時間帯を中心に広瀬バス停で乗りこぼしが生じる場合がある。バス車両の大型化(中型バス車両導入)に向けて関係機関と調整を実施する。	
	とよたおいでんバス(下山・豊田線)	大沼～豊田市	ICカードのODデータ取得による利用実態の把握を行った。また、データを活用したネットワーク機能分析について検討を行った。	A	補助対象期間における利用者数は133,010人であり、目標利用者数143,187人に比べ93%と目標を達成できなかった。前年度比も96.7%で減少している。本路線は運行開始以来大きく増加していたが平成25年度をピークとして減少している。	旧豊田市と旧下山村との相互間の利用者は、41% 5,580人/月であり、広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。市郊外から市中心部への通勤、通学手段として利用されていると考えられる。	<広域的・幹線的系統> 名古屋鉄道 三河線、豊田線 愛知環状鉄道 とよたおいでんバス 旭・豊田線、藤岡・豊田線(加納経由)、保見・豊田線、豊田・渋谷線、小原・豊田線、藤岡・豊田線(西中山経由)土橋・豊田東環状線、稲武・足助線、下山・豊田線、中心市街地玄関口バス 名鉄バス 矢立線、東山住宅線、豊田東市内線(古瀬間経由)、豊田市内線、星ヶ丘・豊田線、九久平線、豊田西市内線、大沼線、岡崎・足助線 <地域的・フィーダー的系統> 下山地域バス、松平地域バス、水源東バス	近年、利用が減少傾向にあることから、利用促進に努める。沿線の松平郷などの観光地を活用した利用促進を実施する。	
	とよたおいでんバス(藤岡・豊田線(加納経由))	藤岡支所～豊田市	ICカードのODデータ取得による利用実態の把握を行った。また、データを活用したネットワーク機能分析について検討を行った。	A	補助対象期間の利用者は100,429人であり、目標の100,112人に対して100.3%となり目標が達成することができた。利用者は運行開始以来増加傾向が続いていたが、近年は、横ばいとなっている。	旧豊田市と旧藤岡町との相互間の利用者は、40% 3,900人/月であり、広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。市郊外から市中心部への通勤、通学手段として利用されていると考えられる。	<広域的・幹線的系統> 名古屋鉄道 三河線、豊田線 愛知環状鉄道 とよたおいでんバス 小原・豊田線、藤岡・豊田線(西中山経由)、さなげ・足助線、保見・豊田線、旭・豊田線、豊田・渋谷線、下山・豊田線、中心市街地玄関口バス、土橋・豊田東環状線、稲武・足助線 名鉄バス 矢立線、東山住宅線、豊田東市内線(古瀬間経由)、豊田市内線、豊田西市内線、星ヶ丘・豊田線、九久平線 <地域的・フィーダー的系統> 藤岡地域バス	藤岡地域から豊田高校南や豊田市駅までの間の利用が多く、昼間の利用が落ち込むことから、地域医療センターなどの沿線施設と連携した利用促進に努める。	
	名鉄栄バス交通(株)	高岡ふれあいバス(路線②)	知立駅～上丘町【車両減価償却費等 国庫補助金の交付対象】	休日ダイヤの平日化、通勤時間帯の増便の検討を行った。	A	補助対象期間の利用者は133,380人であり、目標の124,711人に対して107.0%となり目標が達成することができた。平日は通勤通学、休日は娯楽等での利用が多く、年々増加傾向にあり、地域の移動手段として着実に定着している。	豊田市と知立市との相互間の利用者は、95% 8,820人/月であり、広域的な利用がされている路線である。これらの利用者は、通勤、通学、買い物等の利用が多いと考えられる。	<広域的・幹線的系統> 名古屋鉄道名古屋本線、三河線 <地域的・フィーダー的系統> 高岡ふれあいバス(路線①)、知立市ミニバス	高岡ふれあいバス(路線①)とともに、土曜日の平日ダイヤ化、朝、夜の増便、バス停の変更を行っていく。